



Flower Vase

BACKGROUND

50年の歴史を持つ紙製品の加工製造を行う鈴木紙工所。加工技術の一つであるレーザーカット加工の認知度が低く、魅力をどのように伝えるべきか課題を抱えていた。

IDEA

鈴木紙工所創業50周年を記念する事業として、経営理念でもあり「紙の魅力で未来と世界を切り開く」を体現する企画展「PAPER+K～紙だからできるデザイン～(ペーパーK)」を開催。12名のデザイナーがレーザー加工技術を用いたプロダクトを制作。レーザー彫刻を施すと表面の紙色とは異なる色に変化する紙を使用し、合紙・印刷とレーザー加工を組み合わせFlower Vaseを制作。組み合わせるパーツや見る角度により表情が変わる一輪挿し。組み合わせパターンは64通りあり、飾る花の種類や色、気分に合わせて楽しむことができる。

RESULT

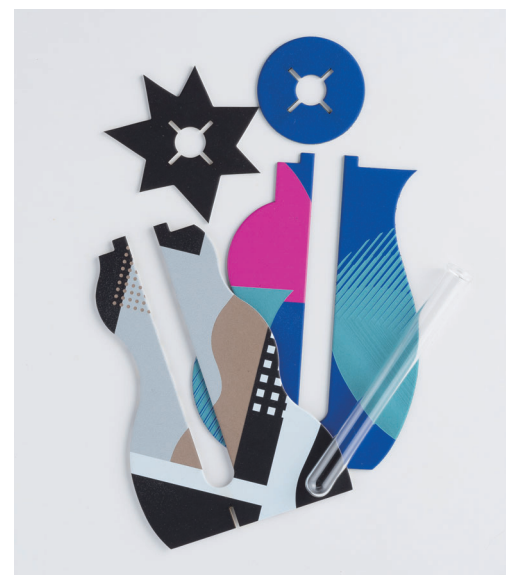
展覧会開催期間中に多くのお客さまにご来場いただき、展示販売していたプロダクトも期間半ばで限定70セットすべて完売となる大盛況。プロダクトを通じレーザー加工の魅力、鈴木紙工所の技術力を多くの方に伝えることに貢献した。



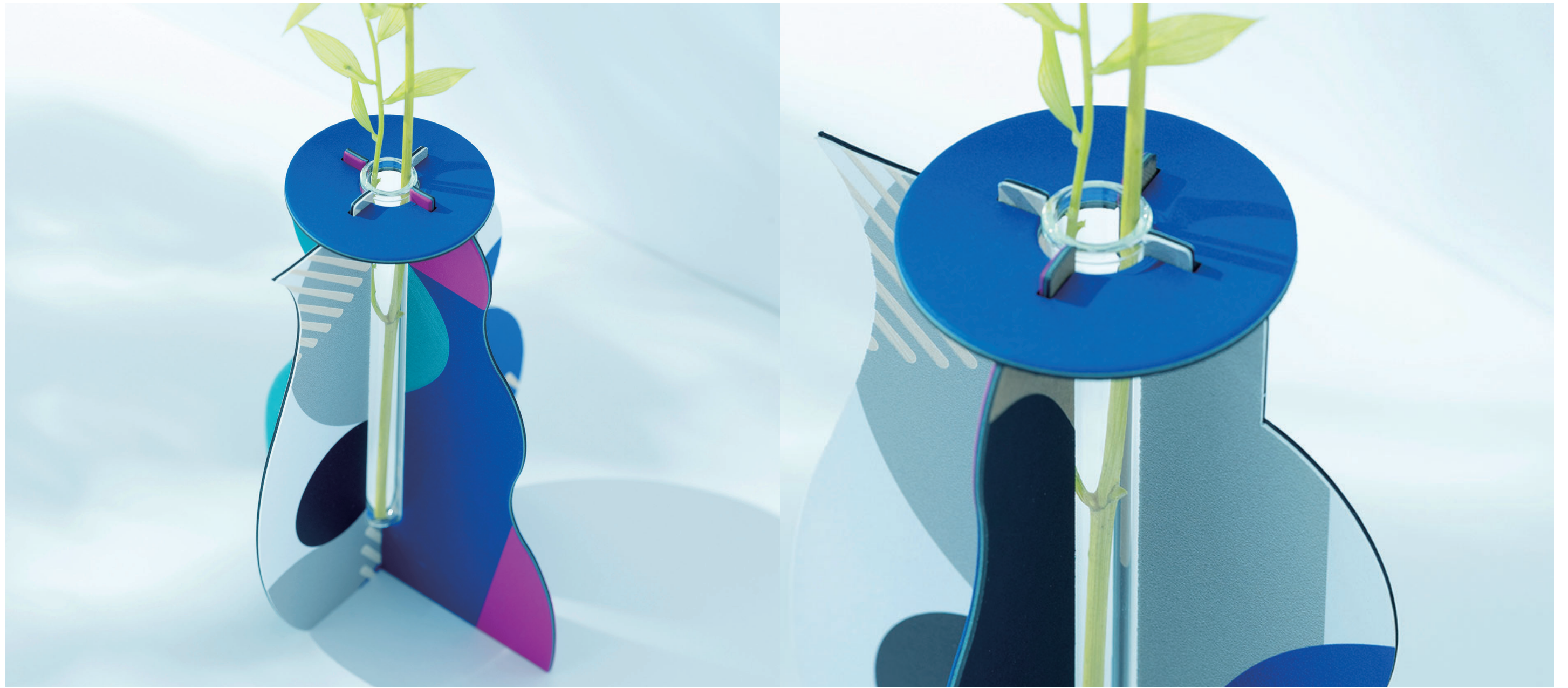
組み合わせるパーツや見る角度により表情が変わる一輪挿し。飾る花の種類や色、気分に合わせて楽しむことができる。



組み合わせパターンは64通り。組み合わせ次第で様々な表情に変化する。



レーザー加工でデザインを彫刻。レーザー加工により表面の紙色とは異なる色に変化する紙を使用。



PAPER+K 展示風景

ポスターは全てレーザー加工で表現。